

実質化された人・農地プラン

市町村名	対象地区名(地区内集落名)	作成年月日	直近の更新年月日
東吾妻町	太田地区()	令和3年12月24日	—

1 対象地区の現状

①地区内の耕地面積	340.1ha
②アンケート調査等に回答した地区内の農地所有者又は耕作者の耕作面積の合計	200.5ha
③地区内における75才以上の農業者の耕作面積の合計	63.8ha
i うち後継者未定の農業者の耕作面積の合計	39.3ha
ii うち後継者について不明の農業者の耕作面積の合計	0ha
④地区内において今後中心経営体が引き受ける意向のある耕作面積の合計	8.2ha
(備考) 地区内の耕作面積の内、アンケート調査等により回答が得られた面積の割合(②/①)=約59%	

2 対象地区の課題

アンケートの結果、回答のあった耕作地(200.5ha)のうち約3割(63.8ha)が75才以上の耕作者となっている。さらに、75才以上の耕作者のうち約6割(39.3ha)が後継者が決まっておらず、今後遊休農地となる可能性が高い。今後これらを引き受ける担い手の確保が必要となる。

3 対象地区内における中心経営体への農地の集約化に関する方針

- ・地域農業のあり方について検討
- ・地域集落における新規就農者の支援、推進

4 3の方針を実現するために必要な取組に関する方針(任意記載事項)

- ・地域農業のあり方について検討
 組織的活動により集落営農が定着しつつあり、地域内の人材育成、活動の継続、農地管理の維持
 農機の大型化に伴い農道等の整備を図る
- ・地域集落における新規就農者の支援、推進
 後継者不在の家から経営資源(土地・機械等)を融通し支援
 定年退職者で新たに就農希望する方、新規就農者を集落営農組織を通じて支援

5 中心経営体

属性	農業者	現状		今後の意向		農業を営む範囲
		経営作物	経営面積	経営作物	経営面積	
認農	A	花卉＋水稻	40a	花卉＋水稻	45a	太田地区
認農法	B	養豚	100頭	養豚	180頭	
認農	C	コンニャク＋水稻＋野菜	510a	コンニャク＋水稻＋野菜	550a	
認農	D	コンニャク＋野菜＋水稻	1550a	コンニャク＋野菜＋水稻	2050a	
認農	E	乳牛	30頭/200 t	乳牛	36頭/250 t	
認農	F	水稻専作	110a	水稻専作	130a	
認農法	G	養豚		養豚	肥育豚7000頭	
認農	H	花卉＋水稻	ハウス15,070㎡/水田28a	花卉＋水稻	ハウス19,956㎡/水田28a	
認農	I	イチゴ＋水稻	627a	イチゴ＋水稻	820a	
認農	J	花卉＋水稻	250千本/133a	花卉＋水稻	278千本/142a	
認農法	K	採卵養鶏	157千羽	採卵養鶏	268.6千羽	
認農法	L	養豚	360頭	養豚	415頭	
計	12名		3,149a		3,965a	